

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	みよし市図書館協議会		
開催日時	令和6(2024)年3月14日(木)		
開催場所	図書館学習交流プラザ「サンライズ」2階 多目的室		
出席者	(会長) 加藤 昌 (副会長) 内田弥生 (委員) 若杉亮子、秋松成喜、長谷川洋子 (事務局) 二子石生涯学習推進課長兼図書館長、秋田主任主査、 古岸子ども読書活動推進員、鈴木主事		
次回開催予定日	未定		
問合せ先	教育部生涯学習推進課 電話番号 0561-34-3111 ファクス番号 0561-34-3114 メールアドレス <a href="mailto:gakushu@city.aichi-miyoshi.lg.jp">gakushu@city.aichi-miyoshi.lg.jp</a>		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議事録全文</li> <li>・議事録要約</li> <li>・書面決議結果</li> </ul>	要約した理由	—
審議経過	別紙のとおり		

令和5（2023）年度 第2回みよし市図書館協議会 会議録

日時 場所	令和6（2024）年3月14日（木）午後2時から午後3時まで みよし市図書館学習交流プラザ『サンライズ』2階 多目的室
出席委員	会長 加藤 昌 副会長 内田 弥生 委員 若杉 亮子、秋松 成喜、長谷川 洋子
欠席委員	委員 横堀 寿孝、植田 裕子、市野 幸代
事務局	生涯学習推進課長兼図書館長 二子石 勝、主任主査 秋田 浩貴 子ども読書活動推進員 古岸 裕美子、主事 鈴木 崇仁
傍聴人	なし
事務局	みよし市立図書館の管理及び運営に関する規則第19条第2項に基づき会議成立しております。
図書館長あいさつ	昨年の図書館の視察研修で小牧市図書館に行きまして、先進的な事例を勉強させていただきました。その中で、スマートフォンを利用して本を借りることができる仕組みを本市でも10月頃を目途に導入していきたいと考えております。スマートフォンの普及率が93%ほどということで、より利便性がよくなり市民サービスの向上につながると考えています。他の事業につきましても、皆さんからのご意見を頂ければと思いますので、よろしくお願いいたします。
加藤会長あいさつ	加藤です。小牧市の図書館の視察については、大変参考になりました。各図書館は立地などの諸条件が様々ありますが、先進的な取り組みの中で取り入れることができるものは取り入れて、みよしの図書館がより良い施設になればと思っています。図書館として、なにを発信したいか、利用者の希望をどう叶えるか、この二点が重要だと考えております。よろしくお願いいたします。
事務局	それでは、これより次第に従いまして議題に移らせていただきます。 本日の議事進行につきましては、みよし市立図書館の管理及び運営に関する規則第18条第2項に基づき、議事進行は加藤会長にお願い

<p>加藤会長</p>	<p>します。</p> <p>それでは、次第に従いまして議事を進めてまいりたいと思いますので、委員の皆様方のご協力をお願いします。</p> <p>まず、議題1 令和6年度の図書館事業計画（案）について、事務局よりご説明願います。</p>
<p>事務局</p>	<p>議題1 令和6年度の図書館事業計画（案）について、初めに、みよし市立中央図書館の基本方針をご説明します。</p> <p>知る自由をもつ市民が、さまざまなことを学び教養を深めるため、だれもが利用しサービスを受けることができる身近な公共施設として、幅広い図書資料の収集を行っています。また、インターネット蔵書検索や新聞記事データベース、電子図書館などを活用することで利便性の向上に努め、市民の暮らしに役立つ図書館サービスを提供しています。さらに、愛知県図書館をはじめとした公立図書館との相互の連携と協働、ネットワークの形成を進め、資料提供に努めています。</p> <p>読書啓発活動として、文学を身近に感じることで読書をするきっかけになるよう、読書講演会などを開催します。また、「みよし市子ども読書活動推進計画」に基づき、授業で役立つ本や読書用の本を学校に貸し出し、図書館支援団体と協働で「おはなし会」、「手作り絵本展」を開催します。図書館や学校などで読み聞かせ活動をするボランティアへの支援も継続して行っています。</p> <p>図書館サービスのさらなる充実に向けて幅広く資料を収集し、多様化する利用者の要望に応えることができるように努めています。</p> <p>続きまして、令和6年度主要事業について説明します。</p> <p>図書館協議会運営事業では、図書館サービスについての協議を行う図書館協議会を年に2回開催します。視察研修については、隔年での実施を視野に入れて令和6年度はどうするかを検討していきます。</p> <p>市民情報サービスセンター図書コーナー整備事業では、独自の企画展を年に4回開催し、また、サンネットの開所日は毎日、中央図書館との間で本の配送を実施します。</p> <p>図書館資料の充実では、利用頻度の高い「生活に関する一般図書」の拡充を図ります。また、図書館資料へのICタグ整備を継続して実施するとともに、雑誌スポンサー制度による雑誌の充実にも努めます。また、愛知県図書館が主導する相互貸借やラストワン・プロジェクト</p>

などの事業へも引き続き参加します。

読書活動の推進では、図書館支援団体の活動の促進、小さいお子さんを対象にしたおはなし会、中学生以下を対象にした読書ノートの配布、図書館バックステージツアー、一日司書体験や多様なボランティア養成教室、読書講演会などを開催します。

図書館窓口等管理運営業務では、図書館窓口等管理運営業務を委託することにより、効率的かつ効果的な運営を行い、質の高い図書館サービスを提供します。令和5年度にプロポーザルによる事業者の選定を実施し、令和6年度から令和10年度までの5年間は、株式会社図書館流通センターへ委託することが決定しました。後ほど詳しく説明いたします。

電子情報サービスの推進では、図書館システムの適正な維持管理を行うとともに、図書館ホームページの充実を図り、インターネット予約や予約確認メール配信サービスを引き続き実施します。また、多様な生活様式の中でも図書館サービスを利用しやすく、文字を読むことが難しい人でも読書ができる電子図書館サービスを令和6年度も継続し、内容の充実を図ります。中央図書館及びサンネット図書コーナーで使用している図書館システム機器について、使用年数が長く、メーカー等のサポート保守が受けられなくなるため、令和6年度中に機器の更新を行います。

市内小中学校との連携では、読書啓発活動の実施、職場体験学習やインターンシップの受け入れ、図書資料の小中学校への団体貸出、配本サービス、学校図書館ボランティアへの支援などを行います。令和6年度は、学校貸出用図書のより一層の充実を図ります。また、読書感想文コンクールに代わる新事業として、小中学生を対象にした「本のポップコンテスト」を実施します。応募作品は中央図書館内で展示し、参加者には記念品を贈る予定です。

続きまして、令和6年度予算案についての主な内容について、ご説明をさせていただきます。

1 図書、逐次刊行物整備事業では、需用費・消耗品費で新聞22紙、新聞縮刷版3誌等を購入する予定です。役務費・通信運搬費では官報他3種類のオンラインデータベース使用料等の支払いを予定しています。備品購入費では図書約10,170冊、視聴覚資料330点、学校支援用図書330冊の購入を予定しています。

2 図書館奉仕事業としまして、普通旅費では愛知県図書館協議会

	<p>や三河公立図書館協議会等へ出席するための旅費を計上しています。研修旅費としましては、愛知県図書館協議会の職員研修や三河公立図書館協議会の先進地視察研修等へ参加するための旅費を計上しています。需用費・消耗品費では、貸出本にかかるブックカバーや本の背表紙に貼るラベルなどを購入していきます。負担金・補助金及び交付金では、日本図書館協会等への負担金を計上しています。</p> <p>3 読書啓発事業では、報償費・講師謝礼としてストーリーテリングや読み聞かせボランティア養成講座等の講師に対してお支払いする報償費を計上しています。需用費・消耗品費では、「本のポップコンテスト」に参加していただいた児童生徒の皆さんにお配りする記念品や赤ちゃんに向けた絵本紹介冊子を作成する費用などを計上しています。</p> <p>4 図書館電算事業では、需用費・消耗品費として貸出本に貼付するICタグやバーコードを、役務費・通信運搬費としてインターネット回線使用料を、委託料として図書館システム保守業務委託料等を、使用料及び賃借料として電子図書館クラウド利用料等を、備品購入費として図書館システム機器一式の購入費を計上しています。</p> <p>5 図書館協議会運営事業では、委員の皆さんへお支払いする委員報酬を計上しています。</p> <p>6 市民情報サービスセンター図書コーナー整備事業では、需用費・消耗品費として雑誌5誌を購入予定です。委託料では、市民情報サービスセンターが開所している日は毎日、中央図書館との間で本の運搬を行っており、その委託費を計上しています。備品購入費では、図書約1,020冊を購入する予定です。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>加藤会長 只今の説明について、何かご意見、ご質問はございますか。</p> <p>内田委員 学校図書館ボランティアについてですが、中学生を対象にした読み聞かせボランティアさんたちから、どんな本を選べばよいかわからないという声がありましたが、先月図書館で行われた小幡章子先生が講師をされたボランティアのための講座が、とても分かりやすく大変参考になりました。参加者の皆さんも感動しておられる様子でした。また開催していただけたらと思います。</p> <p>長谷川委員 図書資料の小中学校への団体貸出についてですが、授業で使う本に</p>
--	---

	<p>関しては、教師が選んだ本を貸し出していただいていると思います。ただ、読書用の本となると、どのような本がよいのか選ぶのが難しい部分がありますので、学校に情報をいただければ大変助かりますのでお力を貸していただければと思います。</p>
事務局	<p>現状として、調べ学習用の本は学校から依頼があつて頻繁にお貸ししていますが、読書用の本は依頼が少ないです。よろしければぜひ、お使いいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
長谷川委員	<p>もう一点、来年度からはみよし市の読書感想文コンクールをやめて「本のポップコンテスト」に代わるということによろしいか確認させていただきます。</p>
図書館長	<p>そのとおりです。小中学生の皆さんが本を読んだ感想や感動した一場面をイラストと短い文章で紹介していただくポップを募集します。作品については、図書館内や市のホームページで紹介できないか検討していきます。また、読書感想文コンクールをやめることで、先生方の負担軽減に寄与する目的もあります。</p>
長谷川委員	<p>読書感想文は、教師だけが読んでいたケースが多いので、本のポップとなれば教室や図書室に飾ったりすることもできるので、ありがたい取り組みだと思います。</p>
図書館長	<p>ありがとうございます。応募していただいた児童生徒さんに記念品をお配りする際などは、学校にもご協力をお願いします。</p>
内田委員	<p>読書に関するボランティアの養成についてですが、サンライズが開館してからしばらくの間は、養成講座が連続講座で開催され、中身の濃い内容でした。最近は単発の講座が多いので、連続講座もお願いしたいと思います。また、中央図書館で活動しているボランティアグループが5団体ありますが、おはなし会の内容があまり充実していないと感じられる団体もありますので、問題点などを図書館の方でも確認して、指導等をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>養成講座に参加されるボランティアさんたちから、連続講座だと参加できないことが多いので、単発の講座にしてほしいという声を何人</p>

事務局	もいただいたことで現在の形になっています。おはなし会は、この前見学させていただき、気になったことはボランティアさんへ伝えました。ただ、全部を把握するのは難しいです。
加藤会長	毎年同じような事業を継続してされていると思います。その中から、みよしの図書館といえばこれ、というようなものができてくるといいかなと思っています。すべての方に公平なサービスを提供するのは前提で、さらに特色をだしていければより良い図書館になるのではないかと考えます。
事務局	参考にさせていただきます。ありがとうございます。
加藤会長	来年度予算についてですが、特に予算額が減額になった部分がありますか。
事務局	特にありません。図書館の蔵書数がほぼ上限に達したため、図書購入費が毎年少しずつ減額しています。また、来年度には図書館システムの機器の購入を予定しているため、その部分の予算額はかなり増額しています。
加藤会長	図書館システムの機器の購入については、リースも検討されましたか。
事務局	リース、買取で検討し、トータルコストをより抑えられる買取としました。
若杉委員	蔵書数が上限に達しているという話でしたが、新しく購入するということは、同じくらいの冊数を廃棄しているということですか。
事務局	状態の悪い資料ですとか、例えば法律関係の書籍などは古い情報は役に立たなくなってくることから、計画的に除籍し、廃棄をしています。
若杉委員	除籍の作業は委託先の職員がしますか。
事務局	委託先の職員が除籍候補を選び、最終決定するのは図書館職員が行

若杉委員	<p>っています。</p> <p>廃棄する本はリサイクル業者に回収してもらい以外に活用していますか。単純に処分してしまうのはもったいないような気もしますが。</p>
事務局	<p>毎年サンライブまつりというイベントの中で、リサイクル本の無料頒布会を実施しています。</p>
加藤会長	<p>他にご意見、ご質問はございませんか。</p> <p>では、続きまして議題2 その他について事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>まず、令和6年度以降の図書館窓口等業務委託についてご説明をさせていただきます。図書館窓口等管理運営業務委託の現契約が令和6年3月31日をもって満了となるため、令和5年度中に、令和6年度以降の委託先を選定する必要がありました。図書館窓口等の管理運営につきましては、専門的な知識やノウハウを必要とするため、プロポーザルによる選定を実施し、下記の通り契約を締結しました。現行の契約につきましては3年間となっておりますが、より安定的な図書館運営を実施していくため、5年間の契約に変更をしています。委託先につきましては株式会社図書館流通センターで現契約と同じ業者となっております。契約期間は令和6年4月1日から令和11年3月31日までとなっております。契約金額につきましては、5年間の税込額で4億2,807万6,000円ということで、ご報告させていただきます。</p> <p>続きまして、令和6年度図書館システム機器の更新についてのご説明をさせていただきます。中央図書館およびサンネット図書コーナーで使用している図書館システムに関する電子機器のうち、返却本の自動仕分け機や出入口に設置しておりますセキュリティゲートなどの図書館業務の中核で使用する物品につきましては、サンライブ開館時に購入してから8年を経過し、その商品の生産が終了されたことに伴いまして部品の調達ができなくなることや、メーカーサポート自体が終了してしまうため、機器の入れ替えが必須となっております。機器の入れ替えに伴い、新しいサービスとして電子図書カードの導入を予定しております。電子図書カードとは、先ほど館長からもご説明させていただきましたが、図書館のホームページに、自分のIDでログインすると、マイページ上に表示されるカードのことで、導入後は従来の図</p>

	<p>書館利用者カードを持参する必要がなくなり、スマートフォンを使って貸し出しをすることができ、利便性が向上すると考えております。主な入れ替え機器としましては、返却本の自動仕分け機やセキュリティゲート、また図書館システムを運用しているパソコン等になっております。契約時期は令和6年4月の中旬に契約を予定しております。予算額としましては、5,784万8,000円となっております。以上で説明となります。</p>
加藤会長	<p>今の説明について、何かご意見、ご質問はございますか。</p>
若杉委員	<p>図書館窓口等業務委託についてですが、みよしの図書館で働いている図書館流通センターの職員の人数を教えてください。また、その職員は異動することはありませんか。</p>
事務局	<p>現時点でいうことでお答えをさせていただきたいと思いますが、中央図書館とサンネット図書コーナーで働いていただいている図書館流通センターの職員さんは、総数が27名の方が在籍をしております。平日の勤務者数は中央図書館が16名、サンネット図書コーナーが3名、休日は中央図書館が14名、サンネット図書コーナーが3名となっております。職員の異動はほぼなく、年間を通じて数名程度です。</p>
若杉委員	<p>窓口に対する意見などを利用者からいただくことはありますか。</p>
事務局	<p>年に1回、利用者アンケートを実施しています。今年度のアンケートは現在集計を行っているところですが、毎年、図書館の窓口に対しては高評価をいただいております。改善点や苦情は見たことがないというのが実感です。</p>
秋松委員	<p>この建物、東西の壁面にサンライブって看板はあるんですが、図書館って表示が全くないので、ぜひ図書館という表示を出していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>検討させていただきます。</p>
加藤会長	<p>他に、何かご意見、ご質問はございませんか。 それでは、ご意見、ご質問がなければ、事務局にお返しします。</p>

事務局	<p>委員の皆様には、長時間にわたるご審議をありがとうございました。 また、今回の会議をもちまして、任期満了という形になりますので、重ねてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。 これで本日の協議会を終了します。</p> <p style="text-align: right;">(午後3時00分)</p>
-----	---